

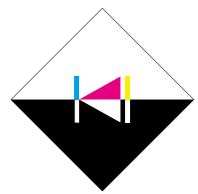


△ KINGLISH

第三十回

精読による英語学習法

一生使える英語力を
支える習慣



精読とは何か

- 俳優、女優がするレベルの台本の丸暗記術。

【方法】

1. 英文の文構造を100%理解する
2. チキンと伝わる英語になるように発音、アクセント、イントネーションまでカバーする



- POINTS 》》》
- 精読と精音読はセットで練習する。
 - 大事なものは根気強く続ける意志。
 - 習慣にすることが最終目標。

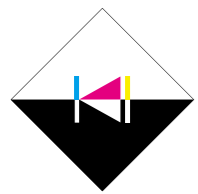
俳優、女優がするレベルの台本の丸暗記術。

俳優、女優も演技をする際に与えられた台本を読み込む事から始める。彼らはまず台本を見ずにセリフが言える様になるまで読み込む。

全てのセリフを暗記した後、初めてカメラが回っての撮影を始める事ができる。

覚えたセリフ回しに抑揚や息遣い、感情を乗せることでプロの演技が完成する。

**精読とはこの演技の基盤を作れる音読練習。
これを英語で行う。**



1. 英文の文構造を100%理解する

- 単語の「意味」と「品詞」も確認する。
- 主語・動詞・目的語・補語・修飾句などの文構造を必ず確認する。
- チャンク（意味のかたまり）を必ず確認する。

2. 発音、アクセント、イントネーションまでカバーする。

- 自分が発音できない音は、聞き取れない。
- 「発音・アクセント」と「音の連結・消失」は必ず確認する。
- 単語単体で聞けても、前後の単語とのつながりで音も変わるので必ず確認する。

POINTS

- 精読と精音読はセットで練習する。
- 大事なものは根気強く続ける意志。
- 習慣にすることが最終目標。

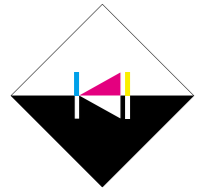
英語が向上する方程式

音読などに入る前に、精読で英文の意味や文構造などを正確に理解しておくことで、始めてきちんとした英語力が身につくようになる。

方程式にすると、次のように表せる。

英語力が向上する方程式

$$\begin{array}{c}
 \text{精読 (インプット) した時間} \\
 \times \\
 \text{精読教材でトレーニング (アウトプット) した時間} \\
 \times \\
 \text{精読教材の数} \\
 = \\
 \text{英語力}
 \end{array}$$



精読、精音読の手順

1. Copying - **精読** -
2. Over lapping - **精音読** -
3. Shadowing - **精音読** -

精読の内容理解のため

精音読の発音理解のため

それぞれ文書ファイルを別に作成する。

POINTS

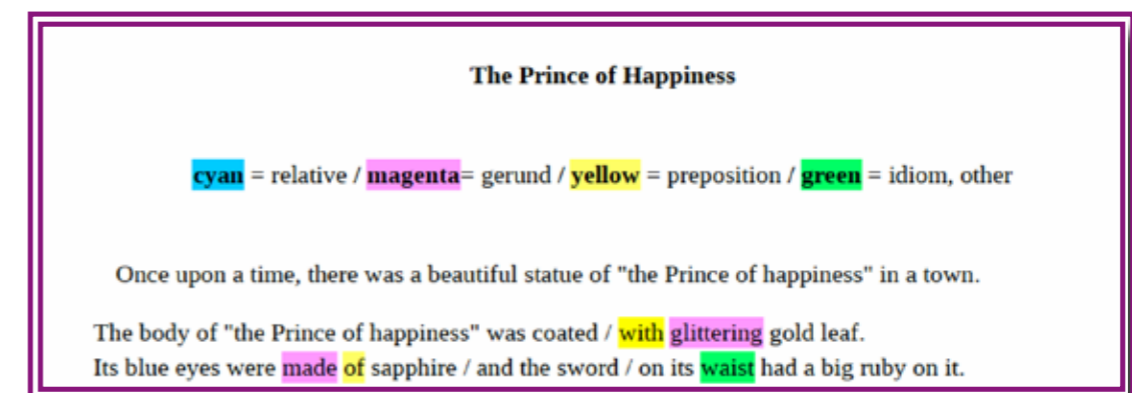
- 精読と精音読はセットで練習する。
- 大事なものは根気強く続ける意志。
- 習慣にすることが最終目標。

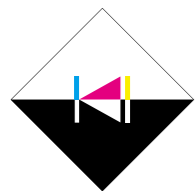
1. Copying 【精読】

多読・速読パートで行ってきたスライドのルールを基準に精読スプリクトの内容を完全に把握する。



多読の読解と同様にスラッシュと各トッピングの色分けで文構造を整理して、内容を100%理解するための文書ファイルを作成する。





2. Over lapping 【精音読】

Copying で完全に教材の内容が把握できたら、次は発音練習用のスクリプトを作成する。

作成手順

発音のリズムの基準となる内容語を全てハイライトをする。

ハイライトした**全ての内容語に強弱の色分け**をつけていく。

内容語 (主役)

- 常に一定のリズムで発音される。
- 強くハッキリ発声し、全体のリズムを形作る。

- ・ 名詞
- ・ 動詞 (be 以外)
- ・ 形容詞 (kind)
- ・ 副詞 (kindly)
- ・ 指示代名詞 (it, this)
- ・ 所有代名詞 (mine)
- ・ 疑問詞 (what, why)

機能語 (脇役)

- 常に内容語のリズムに沿って発音される。
- 弱く纏めて発声し、リズムを形成する際に音も変化する。

- ・ 冠詞 (the, a, an)
- ・ 前置詞 (in, on, at)
- ・ 接続詞 (and, but)
- ・ 関係代名詞 (which)
- ・ 助動詞 (can, will)
- ・ 人称代名詞 (I, she)

練習方法

教材の音声を1フレーズ単位で流し、作成したファイルを見ながら流れた音声を同じように発音する。

これを何度も何度も繰り返して

文章と発音を暗記するまで練習する。

POINTS

- ・ 精読と精音読はセットで練習する。
- ・ 大事なものは根気強く続ける意志。
- ・ 習慣にすることが最終目標。

内容語のみハイライト (段階1)

App Tutor

Hi **BTN**, my **name** is **Yuma Soerianto** / and I am **10 years old**.

I **live** in **Melbourne** / and I **like** **taekwondo**, **playing piano** / and **most** of **all** / I **like** to **code**.

I **started coding** / when I was **6**, because my **school work** / was **not challenging enough**. I **started** / with **coding websites** / and **made online games** / and **once** I was **good enough** / I **started to learn apps** / from an **iTunes Stanford university course** / which I **finished** / in about **4 months**.

Currently I **have 5 apps** on the **app store** / and I'm **hoping to make even more**. The **first app** I **created** was **very simple** / **as** I was still **learning how to make apps**. It was **called kid calculator** / and it is an **app with big flashy numbers**. It also **tells you what number you pressed on** / **so you will never press on the wrong number ever again**. My **favourite App** so far / is my **latest game Let's Stack**.

I **like to say** / that **coding is something anyone can do** / if they **have the perseverance** / and if they **have a creative and logical mind**. **Last year** I **decided to share my knowledge** / with **others especially kids my age**. So, I **stared making videos** / on my **YouTube channel** / **'anyone can code'**.

ハイライトした内容語の強弱の色分け (段階2)

App Tutor

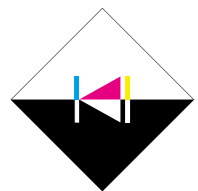
Hi **BTN**, my **name** is **Yuma Soerianto** / and I am **10 years old**.

I **live** in **Melbourne** / and I **like** **taekwondo**, **playing piano** / and **most** of **all** / I **like** to **code**.

I **started coding** / when I was **6**, because my **school work** / was **not challenging enough**. I **started** with / **coding websites** / and **made online games** / and **once** / I was **good enough** / I **started to learn apps** / from an **iTunes Stanford university course** / which I **finished** / in about **4 months**.

Currently / I **have 5 apps** on the **app store** / and I'm **hoping to make even more**. The **first app** I **created** / was **very simple** / **as** I was still **learning how to make apps**. It was **called kid calculator** / and it is an **app** / with **big flashy numbers**. It also **tells you** / **what number you pressed on** / **so you will never press on the wrong number ever again**. My **favourite App** so far / is my **latest game Let's Stack**.

I **like to say** / that **coding is something anyone can do** / if they **have the perseverance** / and if they **have a creative and logical mind**. **Last year** I **decided to share my knowledge** / with **others especially kids my age**. So, I **stared making videos** / on my **YouTube channel** / **'anyone can code'**.



3. Shadowing 【精音読】

Oerlapping で完全に教材の内容を暗記できたら、最終段階の Shadowing を行う。

練習方法

- スクリプトは基本的に見ないこと。(暗記する)
- 常に2、3語遅れで発音する。(シャドーイング)
- 役者の表情も観察しながら発音する。

シャドーイングは、難易度の高い学習法である。聞き取り力や語彙力がかなり育っていないと、満足に取り組めない。

故にコピーイング、オーバーラッピングをしっかり時間をかけてやらないと効果はあまり望めない。

シャドーイングはそれだけ高い付加価値のある英語学習法だということでもある。

POINTS

- 精読と精音読はセットで練習する。
- 大事なものは根気強く続ける意志。
- 習慣にすることが最終目標。

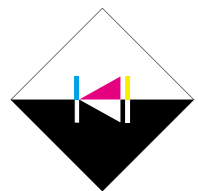
精読教材 -Behind The News-



APP TUTOR



POKEMON GO



第三十回 精読による英語学習法

英語力を高める3つの習慣

英語を伸ばす3つの習慣

- 精読と精音読（シャドーイング）
- 英文書の多読（小説、Blog等）
- 英会話



POINTS

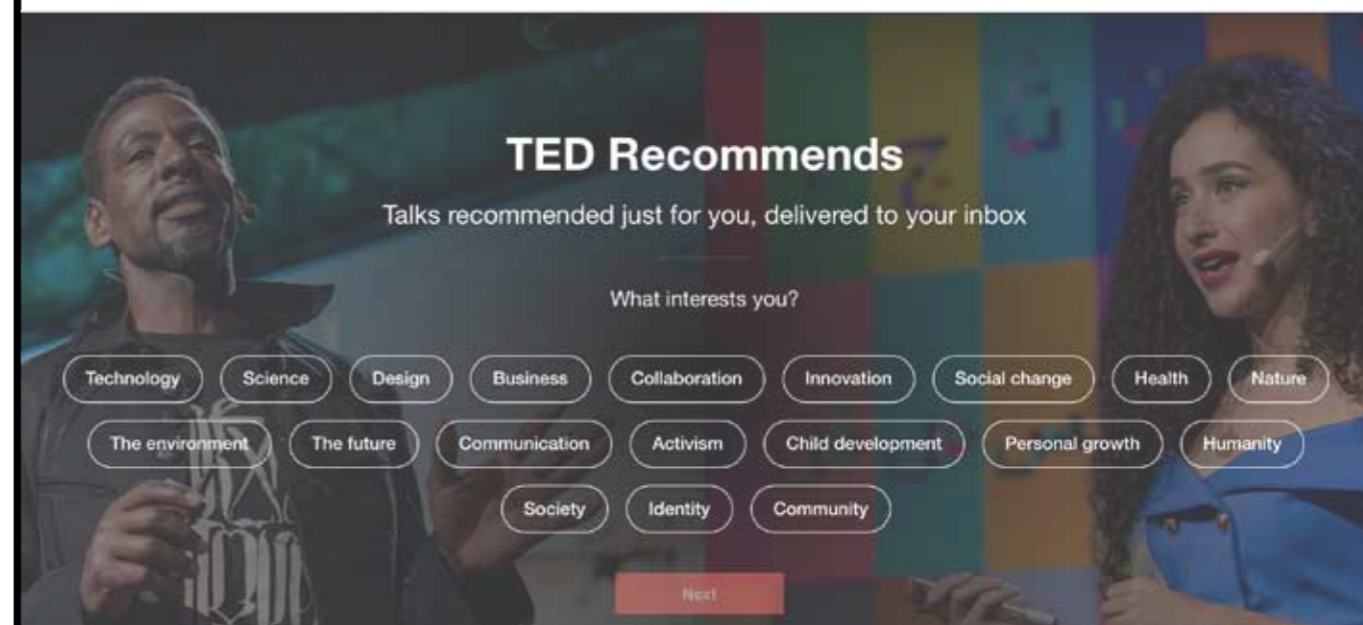
- 精読と精音読はセットで練習する。
- 大事なものは根気強く続ける意志。
- 習慣にすることが最終目標。

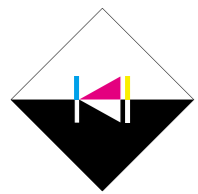
精読と精音読

- 最初は一つの教材に時間をたくさんかける。
- 自分が納得いくまでは練習を続けることが大事。



音声スクリプトは Behind The News から始めて、ある程度数をこなせてきたら Ted Talks で練習することを強くお勧めする。





英文書の多読

昔話の英語から徐々にレベルを上げて長い読み物に挑戦する。

本を選ぶポイント (習慣をつける方法)

- 興味のある本だけを選ぶ。
- 飽きたら読むのをやめていいが、必ず代替りの本を見つけて読む。

英会話

日常的に会話ができる相手がいるのが理想だが、いないなら独り言を言う時間を作って練習する。

話す際のポイント (習慣をつける方法)

- 日々の出来事を他人に説明するように話す。
- 相槌の必要のない会話 (プレゼンテーション) をモデルにする。

- POINTS ▶▶▶
- 精読と精音読はセットで練習する。
 - 大事なものは根気強く続ける意志。
 - 習慣にすることが最終目標。

英語というスキルを一生使える武器にするということ

シャドーイング、多読、英会話。

突き詰めると英語学習はこの三つを習慣化すれば全て事足りる。これは私自身の経験からそう確信している。

これらの学習法全てを自らの生活習慣に完全に取り入れることは簡単なことではない。

しかし時間をかけてもそれに見合う価値はある。

なぜならこの習慣はあなたの英語力を一生支え続けてくれるモノになり得るからである。